

## ■ 井形学部長のメール：「推薦委員会」開催不許可のお知らせ

Re: 「推薦委員会」開催不許可のお知らせ2012年10月21日 日曜日 午後6:12

From: "yappieyy@yahoo.co.jp" <yappieyy@yahoo.co.jp>

To: "井形 浩治(igata)" <igata@osaka-ue.ac.jp>Cc: "池島 真策(ikeshima)" <ikeshima@osaka-ue.ac.jp>, "吉野 忠男(tyoshino)" <tyoshino@osaka-ue.ac.jp>

井形学部長どの

先日はご説明、ありがとうございました。

当日のご説明に、あまりにも間違いが多く、これでこのような決定をなされることは不当と思われるます。

ご訂正をお願いします。

吉井康雄

— On Tue, 2012/10/16, 井形 浩治(igata) <igata@osaka-ue.ac.jp> wrote:

吉井康雄先生へ (cc.学部執行部)

昨日夜はお時間頂戴し、誠に申し訳ございませんでした。

さて、本日10月16日(火)の13:15より、学長徳永光俊先生(同席者:草薙信照副学長)と同学長室におきまして、

先生の「特任教員A」に関する任用手続きについて、これまでの状況説明を致しました。

その上で、私は『大阪経済大学第3編「総務・人事」の第3章「人事」における特任教員規程』の第9条「特任教員Aの任用手続き」の「③学部長は教務委員長および対象者との協議の上、授業計画書を推薦委員会に提出する」という任用手続きにおいて、吉井先生の授業計画書の提出において「不備」(ここでは経営学部カリキュラム検討委員会による否認の意)があるものの、「推薦委員会」そのものへの提案は可能かと伺ってみました。

それに対して、徳永学長は過去の事例においても、「推薦委員会」が書類上の「不備」がある候補者の受理はしておらず、当然、同委員会の開催も不可能である、という旨の回答が出されました。

以上のことから、今後、同事案につきましては、事実上進めていくことは不可能となりました。

本学部は、再雇用する教員のみならず、私を含めた全教員(非常勤・客員、その他も含め)の講義担当は、カリキュラム検討委員会の審議を経て、教授会にて承認されております。

今回の場合だけ特別に、カリキュラム検討委員会の審議結果を無視し、「吉井先生と私との協議」だけで任用等の手続きが進めることは不可能と考えられます。

昨日、吉井先生は、それでもこのままの書類を持って、「推薦委員会」を開催せよ、と私に強く要望されていましたが、「(講義担当計画としては)不備書類」を持って、井形個人は推薦そのものに合意できないまま、「推薦委員会」に提出し諮ることは、大学としても認められない、という結論でございます。

先生のご要望に添えず、大変心苦しく感じる次第です。

加えて、先生からの次の<お願い事項>ですが、

◆カリキュラム委員会として、判断された、沢山の理由・根拠を文書でくださいませんか。

口頭でご説明になるにはあまりにも多岐にわたり、それぞれの理由・根拠の重要性が私には判断できず、10数年、大阪経済大学の一教員として頑張ってきた私への配慮だどご理解していただき、文書でお送りくださいますようお願いいたします。

それは、私の一身上にかかわることであり、お示しになった理由・根拠が、「はい、そうですか。それでは辞退します」と了解しうる性格のものかを判断するためです。

大変申し訳ございません。これにつきましても、「特任教員としての評価」についての論評内容でもあり、「公的文書」としての性格も弱く、対象となられた特任教員「候補者」に文書として直接渡すには、その確たる根拠づけと「カリキュラム検討委員会全員」からの了解が必要かと存じます。

また、捉えようによっては、賛否・主張内容によって発信した個人が特定され、後で発言による非難を受けることになると、

同委員会メンバーによる自由かつ忌憚なき発言が今後妨げられてしまうことにもなりかねません。

もしそうであるなら、吉井先生が普段から高説いただいている「大学の民主・公正・公正的な組織体制の理念」とも相反することにも成かねないのではないのでしょうか。

この点からも、先生からの要請につきましては、慎重に回答・対応したいと考えますので、お待ち願います。

また、昨日のお話しさせて頂いた内容について、若干、私の見解は違うのですが、これらについてはいずれにせよ今回の結果を

覆すものでもないことから、これ以上、先生と「やり取りした内容」を正確に詰める必要性は無いと思われるので、

反論は控えさせていただきます。

「経営管理の3大手法」のご説明・ご教授ありがとうございます。今後、私自身の研究の糧とさせていただきます。